

悲しい事故は後を絶ちません
 なのに大切なものを突然に、永遠に奪ってしまふ
 悲しみは被害者と加害者、
 それに関わる全ての人のものになります
 車は生活に大切なものだけど
 するべきことをもう一度考えてみましょう
 自分の、みんなの大切な笑顔を守るために

おはよう
 こんにちは
 おやすみ

毎日笑顔であいさつする大切な人たち
 一日の始まりと終わりに、
 いつも隣にいてくれる愛する家族
 そんな一人一人が自分の、そしてみんなの宝物

緊急特集

かけがえのない命と笑顔を守るために

あなたが握る命のハンドル



命を守る授業 5月11日 永久津小学校

未来を育む 交通安全を真剣に学ぶ子どもたち。彼らの笑顔を守るために

最近、全国では子どもを巻き込んだ悲惨な死亡事故が多発しています。明るい未来があったはずの小さな命が車によって奪われています。それは、決して他人事ではありません。

5月11日、永久津小学校で交通安全教室が開催されました。警察署や交通安全協会、自動車学校を運営する梅田学園の職員が、交通安全について児童に分かりやすく教えました。

それは、まさに命を守る授業。信号の見方、横断歩道の渡り方などの交通ルールや、人形を使って車が衝突する衝撃の大きさなどを実演。子どもたちは、真剣

INTERVIEW



永久津小3年生
 赤木 理樹くん

僕は、毎日歩いて登校しています。交通安全教室では、信号の見方や横断歩道の渡り方、歩道の歩き方を学びました。自動車は急には止まれないことが分かり、車に気をつけようと思いました。また、自転車に乗るときは反射材を付け、見通しの悪いところでは、降りて確認して渡るようにしようと思います。

な表情で身の守り方を学んでいました。

世代で違いはありますが、私たちは子どもの頃から交通ルールやマナーは絶対に守らなければならないことを学んできました。しかし、時として、それを知っているながら破ってしまう人がいるようです。そんな時に交通事故を起こしてしまつたら。この特集の始めに綴られた手記には、そんな人たちの悔恨の思いが詰まっています。起こしてから気付いたのでは遅いのが交通事故。大切な人たちの笑顔を守るため、出かける前に交通安全について考えてみましょう。